

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	家庭総合	2/4単位	1年	必履修
選択条件				
対象者	1年生全員（2年生での家庭総合2単位（計4単位）が継続履修となる）			
取得資格				
学習のアドバイス	自分や家族の生活の質を高めることに興味・関心を持ち、そのために必要な知識や技能を確実に身に付け、生活に活かしていきましょう。 ワークシートなどの提出物は必ず出し、グループ活動や実習などにも積極的に参加しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 第一学習社「家庭総合 持続可能な未来をつくる」 <副教材> 実教出版「2024 生活学 Navi 資料+成分表」 <実習費> 1000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	生涯の生活設計	生涯発達する自分 ・ステージの特徴と発達課題を理解する。 青年期を生きる ・自立や意思決定の重要性を理解する。	定	定	観 □
5	食生活をつくる	人の一生と食事 ・食事の意義を理解する。 ・自分の食生活を振り返る。 【1学期中間考査】	定 提 観	定 □	観 □
6		・日本の食文化を理解する。 ・食生活を取り巻く課題を理解する。 ・食と健康のかかわりについて考える。 ・食料自給率、食品ロスの現状を理解し、その問題点、解決策を考える。 【1学期期末考査】			
7 9		栄養と食品 ・栄養素の働きと食品の栄養的特徴を理解する。 調理実習 ・日常生活に必要な調理技能を身に付ける。			

10	衣生活をつくる	人の一生と被服	定 提	定 ワ	観 ワ
		<ul style="list-style-type: none"> <li>被服の機能を理解する。</li> <li>目的や個性に応じた健康で快適な着装を考える。</li> <li>被服を選ぶ際の注意点を考える。</li> </ul> これからの衣生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の衣文化を理解する。</li> <li>環境に配慮した衣生活について考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【2学期中間考査】</div>			
11		被服材料と管理			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>被服材料の特徴を理解する。</li> <li>洗濯の流れとしくみを理解する。</li> <li>被服に合った手入れの方法を考える。</li> </ul> 被服製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な縫製技術を身に付ける。</li> </ul>			
12 1 2 3	次世代をはぐくむ	親になること	定	定 ワ	観 ワ
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを生み育てる意義を考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【2学期期末考査】</div>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>親の役割と保育について理解する。</li> </ul> 子育て支援と福祉 <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て環境の変化や課題と子育て支援について理解する。</li> <li>児童虐待の現状を理解し、虐待を防ぐ方法を考える。</li> </ul> 子どもの発達と生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の心身の発達と生活について理解する。</li> <li>子どもの発達に応じた適切なかわり方を考える。</li> <li>子どもの安全を守るために危険箇所を見つけ、その解決方法を考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【学年末考査】</div>			

評価方法

ワ：ワークシート・ノート

提：提出物

定：定期考査

小：小テスト

発：発表

観：観察

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	家庭総合	2/4単位	2年	必修
選択条件				
対象者	2年生全員（1年生の家庭総合2単位（計4単位）の継続履修となる）			
取得資格				
学習のアドバイス	自分や家族の生活の質を高めることに興味・関心を持ち、そのために必要な知識や技能を確実に身に付け、生活に活かしていきましょう。 ワークシートなどの提出物は必ず出し、グループ活動や実習などにも積極的に参加しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 第一学習社「家庭総合 持続可能な未来をつくる」 実教出版「2023生活学 Navi 資料+成分表」 <実習費> 1000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技 定 提	思・判・表 定 □ 提	主体的 観 □
4	食生活をつくる	食生活の安全のために ・食品の選択と保存方法を理解する。 ・食中毒、食品添加物について理解する。 ・食の安全が守られるための問題点を見つけ、その解決策を考える。 食生活をデザインする ・食事摂取基準、食品群別摂取量の目安、食事バランスガイドについて理解する。 ・食事バランスガイドに基づいて適切な献立を考える。  【1学期中間考査】	定 提	定 □ 提	観 □
5					
6	家族・家庭と社会とのかわり	家族・家庭・世帯 ・家族・家庭の機能について理解し、家族・家庭の意義を考える。 家庭生活と職業生活 ・家事労働と職業労働の特徴を理解する。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて課題を認識し、その解決策を考える。  【1学期期末考査】	定	定 □	観 □
7	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について理解する。 ・身の回りの生活における課題を設定し、その解決策を考え、実践し、評価する。	発 提	提	観
9					

10	住生活をつくる	<p>人の一生と住まい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの役割、住空間の配置について理解する。</li> <li>・平面図を理解する。</li> <li>・生活様式と住まい関係、伝統的な日本の住まいについて理解する。</li> <li>・家族の生活に応じた住まいを考える。</li> </ul> <p>【2学期中間考査】</p> <p>住生活の計画と選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸の気候に合った快適な住まいについて理解する。</li> <li>・安全や環境に配慮した住まいの条件を考える。</li> </ul>	定	定 □	観 □
	11	充実した生涯へ	<p>超高齢社会を生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の高齢化の現状や高齢者の心身の特徴・生活について理解する。</li> </ul> <p>高齢社会を支える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の介護の実態や高齢社会を支える仕組みを理解する。</li> <li>・高齢者の自立を支えるために家族や社会ができることを考える。</li> </ul> <p>【2学期期末考査】</p>	定	定 □
12	経済生活をつくる	<p>私たちの暮らしと経済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計の収入と支出について理解する。</li> <li>・収入と支出のバランスのシミュレーションを通して資金管理やリスク管理の重要性について考える。</li> </ul>	定 □	定 □	観 □
		<p>消費者問題を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約、消費者信用について理解する。</li> <li>・様々な消費者問題の実態や消費者保護の仕組みを理解し、適切に行動するための方法を考える。</li> </ul>	定 提	定 □	観 □
		<p>持続可能な社会をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の消費社会と環境の関わりについて理解する。</li> <li>・持続可能な社会をめざして主体的に行動するために何ができるか考える。</li> </ul>	定	定 □	観 □
3	生涯の生活設計	<p>ともに生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度の仕組みを理解する。</li> <li>・共生社会について考える。</li> </ul> <p>生活設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自助・共助・公助の考え方に基いて生活資源を利用し生活設計を考える。</li> </ul> <p>【学年末考査】</p>	定 □	定 □	観 □

評価方法

□ : ワークシート・ノート    提 : 提出物    定 : 定期考査    小 : 小テスト    発 : 発表    観 : 観察

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	保育基礎	2単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 進学系列人文コース、生活・福祉系列			
取得資格	保育技術検定（言語表現技術・造形表現技術）3級			
学習のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やニュースなどを通し、乳幼児を取り巻く時事問題に関心を持ちましょう。</li> <li>・提出物は毎回必ず提出し、実験・実習には積極的に取り組みましょう。</li> <li>・保育園などの実習では服装や爪の長さ、髪型などに気をつけて、ふさわしい状態で実習できるように気をつけましょう。</li> </ul>			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「保育基礎」 <実習費> 2000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。</li> <li>・保育観について考える。</li> <li>・保育環境の特徴や役割を理解する。</li> </ul>	□ 定	□ 定	□ 発 観
5	子どもの発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達の共通性と個別性について理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【1学期中間考査】</div>	□ 定	□ 定	□ 発 観
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴について理解する。</li> <li>・子どもの心の発達の特徴と発達の過程について理解する。</li> <li>・愛着関係の重要性について理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【1学期期末考査】</div>			

7	子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。</li> <li>・乳幼児期の栄養や食事の特徴について理解する。</li> <li>・子どもの衣生活と育児用品について、安全で快適に生活するために何が必要か考える。</li> <li>・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解する。</li> <li>・子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考える。</li> <li>・子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について考える。</li> <li>・子どもの健康管理と事故防止に関する知識を身につける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【2学期中間考査】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの事故防止や安全な環境整備に必要な配慮や準備について理解する。</li> </ul>	ワ 定 観	ワ 提 定	ワ 発 観
9					
10					
11	子どもの文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども文化を支える場の意義について理解する。</li> <li>・子どもの遊びと遊具や表現技術の意義や重要性について理解する。</li> <li>・子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【2学期期末考査】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びにおける保育者からの働きかけについて考える。</li> </ul>	ワ 定 観	ワ 提 定	ワ 発 観
12					
1	保育実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に子どもとふれあう機会や保育の様子を観察などを通して保育への理解を深める。</li> </ul>	ワ 観	ワ 提	ワ 発 観
2	子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども観は国や地域、時代によって変化していくことを理解する。</li> <li>・児童福祉の理念や法律、制度について理解する。</li> <li>・子育て支援の具体的な場や制度について理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【学年末考査】</div>	ワ 定 観	ワ 提 定	ワ 発 観
3					

評価方法

ワ : ワークシート・ノート

提 : 提出物

定 : 定期考査

小 : 小テスト

発 : 発表

観 : 観察

作 : 作品 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	保育実践	2単位	3年	選択
選択条件	2年生で保育基礎を履修した人			
対象者	3年生 進学系列人文コース			
取得資格				
学習のアドバイス	新聞やニュースなどを通し、乳幼児を取り巻く時事問題に関心を持ちましょう。 提出物は毎回必ず提出し、実験・実習には積極的に取り組みましょう。 保育園などの実習では服装や爪の長さ、髪型などに気をつけて、ふさわしい状態で実習できるように気をつけましょう。			
教材 実習費等	<教材> 保育実践 文部科学省 <実習費> 2000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	子供の表現活動や子育て支援について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	保育や子育て支援に関する課題を発見し、子供を取り巻く環境の変化に対応した保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	子供の表現活動と保育 造形表現活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の造形・描画表現が子供の創造性を育てる上で重要な活動であることを理解する。</li> <li>発達に即した援助の方法について考える。</li> <li>子供の造形表現活動を促す技術を身に付ける。</li> </ul>	提 定 観	ワ 提 定	提 発 観
5					
6	子供の表現活動と保育 言語表現活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本やお話を親しむことが子供の想像力と思考力を高める活動であることを理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【1学期期末考査】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉やイメージが豊かになるような援助の方法について考える。</li> <li>子供の言語表現活動を促す技術を身に付ける。</li> </ul>	提 定 観	ワ 提 定	提 発 観
7					
9	子供の表現活動と保育 音楽・身体表現活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供にとっての音楽・身体表現の重要性を理解する。</li> <li>子供が音楽に親しみ、歌を歌ったり、リズム楽器を使ったりする活動を援助する方法について考える。</li> <li>子供の音楽・身体表現活動を促す技術を身に付ける。</li> </ul>	提 定 観	ワ 提 定	提 発 観
10					
11	子供の表現活動と保育 情報手段などを活用した活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報手段を保育に活用した活動を行う。</li> </ul>	提 定 観	ワ 提 定	提 発 観





教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	ファッション造形基礎	2単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 生活・福祉系列、ビジネス系列			
取得資格	被服製作技術検定3級			
学習のアドバイス	手縫い、ミシン縫いの基礎・基本をしっかり身に付け、パンツ製作を通して、被服の構成についても学びます。 定期考査の代わりに作品の提出で成績をつけるので、実習に意欲的に取り組み、期日を守って、丁寧に仕上げるよう頑張りましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「ファッション造形基礎」 <実習費> 7000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4 5 6 7	洋服の製作  衣服の構成	縫製の基礎 (被服製作技術検定4級に挑戦) ・手縫い基礎的な技術を身に付ける。  立体構成と平面構成 ・立体構成と平面構成の特徴を理解する。 ・構成の違いによる人体の覆い方について考察する。	<input type="checkbox"/> 提	<input type="checkbox"/> ワ	<input type="checkbox"/> 観 <input type="checkbox"/> 提
9	衣服の素材	衣服素材の種類と性能 ・衣服素材の特徴を理解する。 ・被服の用途に適した被服材料を考える。	<input type="checkbox"/> 小	<input type="checkbox"/> ワ	<input type="checkbox"/> 観 <input type="checkbox"/> 提
10 11 12 1 2 3	洋服の製作	パンツの製作 (被服製作技術検定3級に挑戦) ・パンツの製作に必要な技術を身に付ける。 ・洋服製作に関する基礎的な知識を理解する。 ・機能的なポケットの位置、大きさを考える。	<input type="checkbox"/> 提 <input type="checkbox"/> 小	<input type="checkbox"/> ワ	<input type="checkbox"/> 観 <input type="checkbox"/> 提

評価方法

ワ：ワークシート・ノート    提：提出物    定：定期考査    小：小テスト    発：発表    観：観察

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	服飾手芸	3単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 生活・福祉系列、ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	この授業では、いろいろな作品の製作を通して手縫い・ミシン縫いの基礎・基本や配色などを学びます。定期考査のかわりに作品の提出をもって成績を付けるので、一つ一つの作品を丁寧に、期日を守って仕上げられるように頑張りましょう。			
教材 実習費等	<実習費> 7000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	ビーズの小物製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーズの種類と特徴について理解する。</li> <li>・ビーズを使った実用的な小物作りを通して、色彩感覚と基本的な技法を身につける。</li> </ul>	提 観	ワ 提	発 観
5	基礎縫い練習 小物製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な縫い方の種類と特徴について理解する。</li> <li>・基礎縫いの技法を身に付ける。</li> </ul>	ワ 提 観	ワ 提	発 観
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・刺しゅうの種類と特徴について理解する。</li> <li>・刺しゅうの技法を身に付ける。</li> <li>・手芸の変遷について理解する。</li> </ul>			
7 9 10	刺しゅうの小物製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロスステッチの特徴について理解する。</li> <li>・クロスステッチの技法を身につける。</li> </ul>	提 観	ワ 提	発 観
11	クリスマスリースの製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にデザインを考えながら、季節感のある装飾品を製作する。</li> <li>・フェルトを使ったリースの飾りやモールによる装飾技術を身につける。</li> </ul>	提 観	ワ 提	発 観
12 1 2	子どものおもちゃ製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した知識や技術を生かして、実際にデザインを考えながら作品を製作する。</li> </ul>	提 観	ワ 提	発 観

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 作：作品など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	フードデザイン	3単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 ビジネス系列			
取得資格	食物調理技術検定3級			
学習のアドバイス	提出物は毎回必ず提出し、実習には積極的に参加しましょう。また、実習の際には安全で衛生的な活動ができるよう服装や爪・髪型には十分に配慮しましょう。 普段の生活においても自分や家族の食事を作り、調理技術を磨く努力をしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 教育図書「フードデザイン Food Changes LIFE」 実教出版「基本マスター フード&クッキング」 <実習費> 5000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	健康と食生活	食事の意義と食を取り巻く現状 ・食事の意義と役割について理解する。 ・自分の食生活を振り返る。 ・現代の日本人の食習慣や栄養状態の現状と課題について考える。	定	定 □	観 □
5	栄養素と食品	栄養素の働き ・栄養素の働きと消化・吸収のしくみについて理解する。  【1学期中間考査】	定 発	定 □ 提	観 □
6	調理してみよう	基本的な調理操作 (食物調理技術検定4級に挑戦) ・調理に必要な基本的な技術を身に付ける。 ・実習を振り返り、考察する。  【1学期期末考査】	定 観	□	観
7 9 10	栄養素と食品	食品とその特徴 ・食品の特徴、調理上の性質について理解する。  【2学期中間考査】	定	定 □	観 □
11	調理してみよう	日常食の調理 (食物調理技術検定3級に挑戦) ・日常食の調理に必要な技術を身に付ける。 ・日常食の調理に必要な食品の選択と食品衛生について理解する。 ・実習を振り返り、考察する。  【2学期期末考査】	観 小	□	観

12	1	栄養素と食品 食品とその特徴 ・食品の特徴、調理上の性質について理解する。	定	定	ワ	観	ワ	
	2	献立と調理 献立作成 ・テーブルコーディネートを踏まえて、テーマに応じた献立を考える。	ワ	発	ワ	提	観	
	2	各国料理とコーディネート 各国の料理様式 ・日本料理、フランス料理、中国料理の特徴について理解する。	定	観	定	ワ	観	ワ
	3	食育と食育推進活動 食育と食育推進活動 ・食育を推進することの重要性を理解する。 ・家庭や地域における食生活の課題を発見し、解決策を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【学年末考査】</div>	定	ワ	定	ワ	観	

評価方法

: ワークシート・ノート   
 : 提出物   
 : 定期考査   
 : 小テスト   
 : 発表   
 : 観察

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	フードデザイン	3単位	3年	選択
選択条件	2年生でフードデザインを履修していない人			
対象者	3年生 進学系列人文コース、生活・福祉系列			
取得資格	食物調理技術検定4級			
学習のアドバイス	提出物は毎回必ず提出し、実習には積極的に参加してください。また、実習の際には安全で衛生的な活動ができるよう服装や爪・髪型には十分に配慮してください。 普段の生活においても自分や家族の食事を作り、調理技術を磨く努力をしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 教育図書「フードデザイン Food Changes LIFE」 実教出版「基本マスター フード&クッキング」 <実習費> 3500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	健康と食生活	食事の意義と食を取り巻く現状 ・食事の意義と役割について理解する。 ・自分の食生活を振り返る。 ・現代の日本人の食習慣や栄養状態の現状と課題について考える。	定	定 □	観 □
5	栄養素と食品	栄養素の働き ・栄養素の働きと消化・吸収のしくみについて理解する。 【1学期中間考査】	定 発	定 □ 提	観 □
6	調理してみよう	基本的な調理操作 (食物調理技術検定4級に挑戦) ・調理に必要な基本的な技術を身に付ける。 ・実習を振り返り、考察する。 【1学期期末考査】	定 観	□	観
7 9 10	栄養素と食品	食品とその特徴 ・食品の特徴、調理上の性質について理解する。 【2学期中間考査】	定	定 □	観 □
11	調理してみよう	日常食の調理 ・日常食の調理に必要な技術を身に付ける。 ・日常食の調理に必要な食品の選択と食品衛生について理解する。 ・実習を振り返り、考察する。	定 観	□	観

12	献立と調理	献立作成 ・テーブルコーディネートを踏まえてテーマに応じた献立を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【2学期期末考査】</div>	ワ 発	ワ 提	観
1	各国料理とコーディネート	各国の料理様式 ・日本料理、フランス料理、中国料理の特徴について理解する。	定 観	定 ワ	観 ワ
2	食育と食育推進活動	食育と食育推進活動 ・食育を推進することの重要性を理解する。 ・家庭や地域における食生活の課題を発見し、解決策を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【学年末考査】</div>	定 ワ	定 ワ	観

評価方法

: ワークシート・ノート   
 : 提出物   
 : 定期考査   
 : 小テスト   
 : 発表   
 : 観察

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
家庭	食文化	3単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 生活・福祉系列、ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	提出物は毎回必ず提出し、実習には積極的に参加してください。実習の際には、安全で衛生的な活動ができるよう服装や爪の長さ、髪型などに気をつけて、ふさわしい状態で実習できるように気をつけましょう。			
教材 実習費等	<実習費> 3500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食文化の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元・題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	日本の食文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の気候風土、宗教、風俗・習慣と食文化の関わりについて理解する。</li> <li>日本の行事食・保存食の意義を理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【1学期期末考査】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の食文化について実習を通して体験する。</li> <li>食文化伝承の重要性や新たな食文化を創造することの意義について理解する。</li> <li>食育が果たす役割について理解する。</li> </ul>	定 提 観	ワ 提 定	ワ 発 観
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					

評価方法

: ワークシート・ノート   
 : 提出物   
 : 定期考査   
 : 小テスト   
 : 発表   
 : 観察  
 : 作品    など